

市民参加型 オペラ「かくや姫」

日本人には馴染みのストーリー

プロと一緒に市民も舞台出演する

竹の里・阿南でお贈りするかくや姫の物語

オペラ「かくや姫」全2幕 作曲・台本：平井秀明

“三代で楽しめる”オペラ「かくや姫」は、「竹取物語」を題材に、心に残る美しい旋律が反響を呼び、03年世界初演以来すでに国内外各地（東京、千葉、埼玉、茨城、北海道、新潟、福井、岡山、香川、徳島、ザルツブルク、アニフ、キャンペラ、ブラハ、ロサンゼルスほか）で30回以上の再演を重ね、“新たな国民オペラ”（『音楽の友』誌）として、注目されています。

海外では、06年、日豪両政府主催「日豪交流年」記念豪州公演（『日本のブッチーニ』：『キャンペラ・タイムズ』誌）、09年、3日前に札幌と成るほど超満員のチェコ・ブラハの殿堂スメタナホール公演（『美しいメロディーと魂を揺さぶる音楽』：『スプラヴォダイ』誌）共に大成功を収め、12年8月、オース

トリア・アニフ市の招聘で、世界最高峰の“ザルツブルク音楽祭”開催中に、ザルツブルク、アニフでの2公演を行い、絶賛されました。

さらに、『詳解 オペラ名作127』（野崎正俊著／ショパン社）の新装改訂版に、数少ない日本オペラ作品の一つとして収録され、15年8月には、日系コミュニティ世界最大級の祭典「二世週日本祭」75周年・終戦70周年記念として、ロサンゼルス公演が実施されるなど、今話題沸騰中の作品です。

徳島県内では2004年以来既に3回（徳島市）上演され、“竹の街”阿南市にて待望の再演となる必聴必見の舞台です。

平井 秀明 指揮者・作曲家 HIDEAKI HIRAI, Conductor / Composer

幼少よりピアノと作曲を祖父平井康三郎に、チェロを父平井丈一朗に師事。桐朋高校を経て、米国ロチェスター大学政治学卒業。イーストマン音楽院、ジョンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院、ヤナー・チェク音楽院ほかで、指揮法を学ぶ。1997年第6回ブラデツ・クラウロベ国際指揮者コンクールで第1位。2000年ヤナー・チェク・フィル定演にデビュー。東京フィルなど国内主要楽団に度々客演する一方、新国立劇場にて『フィガロの結婚』ほかを指揮。自作オペラ三部作の『かくや姫』、『小町百年の恋』、『白狐』は、ザルツブルク、ブラハ、豪州、ロサンゼルスほか内外で50回以上再演を重ね、いずれも絶賛を博している。

2010年チェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団首席客演指揮者に就任し、チェコ国立ブルノ歌劇場モーツァルト・ホール定演を指揮するほか、2012年ウィーン国立歌劇場にて鮮やかな指揮デビューを飾り、2013年同歌劇場に再登場。同年には米国カーネギー

ホール指揮デビューで圧倒的成功を収め、直ちに2014～15シーズンより、ニューヨーク祝祭管弦楽団音楽監督に就任。2014年、名門ソフィア・シンフォニエッタにデビュー。2016年プレヴェン・フィル定演を指揮していずれも大成功を収めた。2017年5月、ウィーン・クラウグ・アンサンブルの招聘により殿堂ウィーン・コンツェルトハウス指揮デビューで成功を収め、楽団員全員一致で、2017～2018シーズンより、同楽団の首席客演指揮者に就任。同年10月、カトリック総本山のバチカン市国サン・ピエトロ大聖堂公式ミサにて、自作アヴェ・マリアの指揮、およびローマ法王への献呈が許されたほか、ローマ・トレ管弦楽団シーズン開幕定期演奏会（ローマ・パラディウム劇場）デビューを飾り、2019年にはロシアニ歌劇場デビューが決定するなど、国際的な活躍が大きな注目を集めている。

≪平井秀明公式サイト≫ <http://www.hideaki-hirai.com>

かくや姫 佐藤 路子 Soprano

京都市立芸術大学卒業。京都芸術祭京都府知事賞。なにわ藝術祭新人賞。ノーヴィ国際音楽コンクール第1位。ABC新人コンサート合格。『ジャンニ・スキッキ』ラウレタ役でオペラデビュー。同公演が音楽クリティッククラブ本賞等多数受賞。びわ湖ホール『フィガロの結婚』伯爵夫人、大阪帝国ホテル（栗山島良演出）『椿姫』ヴィオレッタ、佐渡裕プロデュース『ヘンゼルとグレーテル』露の精、日生劇場『オルフェオとエウリディーチェ』エウリディーチェ、新国立劇場『リゴレット』チェブラーノ伯爵夫人、『ワルキューレ』ヘルムヴィーゲ、『蝶々夫人』ケイト及び蝶々夫人カヴァー等の他、平井秀明『小町百年の恋』およし／小町役、『MABOROSHI〜源氏物語（初演）』紫の上、日本オペラ協会『天守物語』富姫役等、日本作品にも多数出演。西本智実プロデュース（松竹主催）『蝶々夫人』タイトルロールでは好評を得。京都南座公演に続き新橋演舞場、大阪松竹座に出演。マラー『復活』、パッパ『ヨハネ受難曲』、ヴェルディ『レクイエム』等宗教曲のソロも務める。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。

帝 三浦 克次 Bass Baritone

明治大学法学部卒業後、東京声楽音楽学校卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部に籍中に藤原歌劇団公演『仮面舞踏会』でデビューした後、国際ロータリー財団の留学生としてローマに留学。スルモーナ市立歌劇場で『秘密の結婚』に出演。帰国後、藤原歌劇団と新国立劇場を中心に多数のオペラに出演。『エスカミーリオ』『ジェルモン』『シャープレス』『スカルピア』『ショナール』『ドゥルカマール』『ファルスタッフ』などをレパートリーとしている。オペラ『かくや姫』は03年の初演から、和光市・小崎市・浦安市・キャンペラ・ロサンゼルスなど国内外で帝役を歌う。宗教曲等のソロとしてもパッパ『マタイ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、ハイドン『天地創造』、モーツァルト、ドニゼッティ、ヴェルディ、フォーレの『レクイエム』、ロシアニ、シューベルト、グノー、ブッチーニのミサ曲、ベートーヴェン『第9』（平井秀明指揮 カーネギーホールなど）、オルフ『カルミナ・ブラーナ』等を歌う。パステリアニ国際コンクール第3位。東急五島記念文化財団オペラ新人賞、シロー・オペラ賞受賞。藤原歌劇団団員。昭和音楽大学・大学院、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師。千葉市在住。 <http://miura.music-web.info>

翁 伊藤 和広 Baritone

東邦音楽大学卒業。イタリアのミラノに2年間留学。エルバ市エウロペア音楽院オペラ専修課程に学ぶ。第35回イタリア声楽コンクール・シエナ部門にてイタリア大使杯受賞。ベルヴェーリ国際コンクール入賞。1998年 彩の園さいたま芸術劇場公演『ジャンニ・スキッキ』タイトルロールでデビュー。2000年 渋谷公会堂での藤原歌劇団鑑賞教室『カルメン』エスカミーリオで同団に初出演。以降、各種団にて出演を重ね、渡伊、在伊中、ピアチェンツァ市立歌劇場のオーディションに合格。ミラノにて『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『道化師』トニオ、在ミラノ総領事館主催コンサート、G.ヴェルディ財団主催コンサート、リグーリア州夏の音楽祭アルピッソラ・マリーナに出演。帰国後は『ドン・カルロ』ロドリゴ、『シモン・ボッカネグラ』タイトルロール等に出演。現在、東邦音楽大学准教授。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。第1回彩の園アーティスト受賞。

姫 但馬 由香 Mezzo Soprano

武蔵野音楽大学声楽科、同大学院声楽専攻修了。藤原歌劇団入団後、オペラ公演『アルジェのイタリア女』にて森山京子、アグネス・バルツァ両氏のアンダースタディーとして起用され研鑽を積み、翌年同公演オペラ『ラ・チェレントラ』（シンデレラ）にて姉ティーズベ役で本格的なオペラ・デビューを飾る。その後も藤原オペラ公演『椿姫』アンニーナ役、『リゴレット』小姓役、『ランスへの旅』モデステーナ役、『どろぼうかさざき』ピッポ役（日本初演）、『セヴィリアの理髪師』ベルタ役などに出演。2018年春には同公演オペラ『ラ・チェレントラ』（シンデレラ）にて初の主役（シンデレラ役）を務め好評を博した。オペラ『かくや姫』は今回が3度目の出演となる。その他宗教曲ソロとしても活躍。2014年には藤原歌劇団のCD『Bravi! vol.2』（徳間ジャパンより発売中）に収録される。元武蔵野音楽大学附属音楽教室講師。第50回日伊コンクール入選。第31回阪塚新人音楽コンクール第一位。藤原歌劇団団員。

車持皇子 市岡 雅明 Tenor

広島大学教育学部第四期音楽文化系コース卒業。同大学大学院修了。ミラノ音楽院修了。声楽を須安利秀、枝川一也、西尾優、N・ザニーニの各氏に師事。2007年～2012年イタリア・ミラノに留学。国内外にてオペラやコンサートに出演する。徳島市にて市岡音楽スタジオを主宰し、後進の指導にも当たっている。徳島市出身。

大納言 市瀬 晋也 Baritone

徳島県立富岡西高校卒業。声楽を平岡路子、千代崎元昭、池上久乃氏に師事。四国二期会オペラ『ヘンゼルとグレーテル』の父親役で出演。La Vita コンサートオペラハイライトでは『蝶々夫人』のシャープレス役で出演。オペラ『かくや姫』阿波版にて新役を好演。現在、阿南市宝田にて理髪店を営む。四国二期会会員。

中納言／天の王 中山 知彦 Baritone

徳島大学医学部医学科卒業。声楽を市岡雅明氏、ピアノを西野洋子氏に師事。高校・大学で合唱を経験。2017年、第6回JCAユースクワイアに参加し見聞を広める。現在はオニオンズ、鳴門アカデミー合唱団の団員として活動。パッパのカンタータ等でソロを務める。徳島市出身。

公家 根津 久俊 Tenor

東京藝術大学声楽科卒業。太田直樹、吉田浩之、櫻田亮の各氏に師事。第29回市川市新人演奏家コンクール優秀賞受賞。第2回日光国際音楽祭声楽コンクール第3位・奨励賞を受賞。これまで『ラ・ボエーム』ほか多数のオペラに出演。現在はサントリー・オペラアカデミー、プリマヴェーラコースに在籍。二期会オペラ研修所第61期マスタークラス修了時に優秀賞受賞。二期会会員。

石作皇子 渡辺 一央 Tenor

奈良県生まれ徳島育ち。徳島文理大学音楽学部卒業。熊谷公博氏に師事。四国二期会主催室内ミュージカル『白雪姫』に王子役として出演。また本年8月には自身で企画し、好評を得る。徳島県内にて活動中。

里の娘 真鍋 美恵 Soprano

昭和音楽大学音楽学部声楽科卒業。鳴門教育大学大学院修了。近年は徳島県内外で演奏活動を行っている傍ら、声楽、合唱の指導に当たっており、ベートーヴェン第九交響曲の合唱指導者としても徳島県内各地で招聘されている。鳴門教育大学大学院学校教育研究科嘱託講師。四国大学短期大学部非常勤講師。藤原歌劇団団員。

管弦楽 徳島交響楽団 (ピアノ：米田佳子)

1971年、徳島市市民管弦楽団として発足。1982年、徳島交響楽団と改称。毎年、定期演奏会、ニューイヤークンサート、チャリティー・スプリングコンサートを開催し、鳴門「第九」交響曲演奏会、徳島県音楽協会コンサートなどに出演。2008年には徳島交響楽団ジュニアオーケストラを設立し、青少年の育成にも努めている。